

協国巧彦の目

クレージーキャッツ
「第3の男」、谷啓さ
ん逝く

温厚な人柄で知られ
た谷啓が逝った。自宅
の階段で転落し、死因
は脳挫傷だった。享年
78。

これで、クレージー
キャッツ7人のメンバ
ーは、リーダーのハナ
肇（1993年9月）石
橋エータロー（94年6
月）安田伸（96年11月）
植木等（2007年3
月）谷啓（10年9月11
日）の5人が鬼籍に入
り、桜井センリ（80）犬
塚弘（81）が残った。



今年、クレ
ージーキャッ
ツ結成から55
周年。16日か
ら始まった台
東区の「した
まちコメディ映画祭」
で、谷啓は、最終日の
20日に小沢昭一、コン
ト55号に続いてコメデ
イ栄誉賞を受賞するこ
とになっていた。コメ
ディ栄誉賞は、笑いで
人々に幸せと喜びを与
えた人を表彰する賞で
ある。

の全盛期は
50年代後半
から60年代
の日本の高
度経済成長
期。テレビ
の普及が進み、64年の
東京オリンピックに向
けて、日本中が活気に
あふれた一億総レジャ
ー時代だった。

クレージーキャッツ
は、そんな社会背景の
下、「シャボン玉ホリ
デー」（61年スタート）
などで、テレビの人気
者としてスター街道を
ひた走った。

ギャグ、コメディ、
音楽、映画、CMと、
多様性を持った7人の
キャラクターたちが、
ハナ肇のリーダーシッ
プの下で、芸能界で暴
れた。

派手なパフォーマンス
のハナ肇、植木等に

比べ、地味な谷啓は「第
3の男」といわれ、知性
と存在感で亡くなるま
でスターの地位を保持
し、ファンも多かった。
アメリカの喜劇俳優
ダニー・ケイをもじつ
た芸名でも分かるよう
に、ウイット、ペーソ
スに富むコメディアン
を目指した。

一度、取材中に「谷
さんは、トロンボーン
一本でいったら、カー
ネギーホールやラスベ
ガスのステージを踏め
るのでは？」と言った
ら「いやあ、ありがと
う。でもここまでハナ
組に足を突っ込んだら
抜けられないよ」と、
照れてウインクしたこ
とを思い出す。

クレージーキャッ
ツ、ザ・ドリフターズ
と敗戦で疲弊した日本
人を元気づけた人気グ
ループが、相次いで潰
（つい）えていく。
政治も経済も閉塞
（へいそく）感が漂う
日本。元気な日本への
突破口になる民衆のエ
ネルギーが待たれる。